

◆トピック (文責:西日本支部主任 中川)※受入れ開始時期順

【株ヤヨイサンフーズ九州工場様】

・特定技能外国人より退職希望が寄せられた。理由はルームメイトとの不仲。組合も間に入り面談を重ねたが、どうしても関係改善が困難という事で外国人同士の部屋交換を工場へ提案したところ、部屋交換はさせられないという事となった。どうしても我慢できないという事だったので本人の意思を尊重して2月 22 日に帰国退職する事となった。

・現場巡回を実施。各ライン長に挨拶をさせて頂いた。どの人材も伝わらない場合はレクチャーなどで伝えており、仕事面は問題がないことが分かった。以前、日本人と不仲だった人材も、現在問題なく仕事をしており、真面目に取り組んでいると高評価をもらい安心した。

【下関工場様】

・特定技能外国人より指摘があり、女性も管理業務を行っていた事が判明した。特定技能2号へ移行するにあたり、管理業務の実務経験が必要となっている。当初、現状では女性には実務経験がないとの情報だった。工場様にも報告して、理解して頂けたので業務指示書を変更して頂く事となった。2025 年 5 月の試験に 2 名受験予定。

・1 月 25 日に工場の新年会が行われ、特定技能外国人も出席させて頂いた。12 月にも忘年会が行われており、外国人材は若いので定期的にイベントを開催して頂いており良い息抜きとなっている。

【株マルハニチロ九州様】

・1 月 6 日に外国人材を集めて指導会を実施。特定技能 2 号の案内、評価制度の公表、当工場のこれまでのトラブル紹介、弊組合作成のルールブックの案内、第 2 工場の通勤路の注意、一時帰国申請ルール。初めての指導会という事もあり、皆さん静かに聞いてくれました。

・菊陽町が主催する警察講習に 14 名の人材が参加した。110 番のかけ方(日本語が苦手でも通訳者が対応する体制となっている)、交通ルール、犯罪防止(家・自転車の施錠、置き引き、深夜の一人歩き、口座の売買など)

監理・支援活動風景



特定技能外国人面談(YSF 九州)



新年会風景(MN 下関)



指導会、警察講習風景(MN 九州)

